

# 上昇気流

文化祭まで あと 7日  
実力テストまで あと 12日  
学期末テストまで あと 31日

## 中間テストの結果を配付しています

今週の月曜日(23日)に、中間テストの結果を配付しています。

文化祭が終われば、受験校を決めていく上での重要な資料となる実力テストや期末テストが立て続けにあります。

中間テストの結果を踏まえて、ご家庭でも再度、進路や日頃の家庭学習に関する話し合いを持っていただけたらと思っています。

各教科の平均点は次の通りでした。

教科	平均点
国語	67.9 点
社会	54.5 点
数学	54.4 点
理科	56.4 点
英語	56 点

## 出題範囲を示さない

### 実力テスト勉強にどう取り組むか

定期テストに向けた勉強は、授業で使ったものを使用するようアドバイスをしていますが、11月8日にある実力テストに向けては、次のようなやり方が良いのではないかと思います。

#### 「実力がついている」と感じている人

「入試問題集」等を使って、どんどん自分の実力を試しながら、理解できていなかったことや、忘れていたことを補充していく。

#### 「実力がついていない」と感じている人

「1・2年の総まとめ」のような参考書を使って復習していきましょう。じっくり時間をかけて、実力テスト対策をに臨んでほしいところですが、あまり時間がかけられないという人は「5教科総まとめ」のような簡単な参考書で、1年～2年の復

習をしておきましょう。

## 文化祭に向けて

文化祭の前には、下の星野富弘さんの「あけび」の詩画を示して、生徒たちに話すことが、これまでもよくありました。

HP 用は画像を載せていません

### ① 思い切り「やり切っている人」がカッコいい

合唱でも演劇でも、恥ずかしそうに小さな声しか出ていない人は、すごくカッコ悪く見えます。演劇でセリフが聞こえない場面は、観客もザワザワだし、余計に聞こえないという状態に陥ってしまうことがあります。

反対に、上手でなかったとしても、声量の大きな合唱や声がよくとおる役者は、堂々としていて、カッコいいものです。自分の全てを投げ出

している「あけび」のような勇気が、文化祭では必要となってきます。そんな勇気を全員が持って、やり切っこそ、最上級生であり、「史上最高に行事に強い3年生」と言えるのではないかと思います。

### ② 仲間がいるとできるはず

集会や儀式的行事の際の校歌が、あまりしっかり歌えていないことが、本当は気になっています。 コロナ禍以降、久々に歌えるようになったので、「厳しく言うのはやめよう」と思って、言っていないのも、歌えていない原因だと思いますが、唯一、クラスの列から離れている生徒会執行部の列からは大きな声が聞こえてきます。(まだまだですし、執行部の中にも、あまり歌えていない生徒もいますが・・・)

生徒会執行部の列はなぜ大きな声で歌えるのでしょうか？

一つは「責任感」からだと思います。

もう一つは、「あの子が歌ってくれるから私も」という安心感や信頼関係からだと思っています。

クラスの中でも、「みんなが必ず精一杯の力を出し切って歌ってくれるから私も」という信頼関係をつくって歌ってほしいと思っています。

### ③ 見せてもらっていない手本を見せる

24日(火)の学年集会の中で、委員長会の山口さんが、文化祭に向けて、「次の2つのために、精一杯取り組んで行きましょう」と呼びかけてくれました。その2つとは

① 悔いが残らないように。

② 1・2年生に手本を見せるために。

合唱でも演劇でも、ステージに立っている自分の姿は、後日映像で見ることになります。

精一杯自分の持てる力の全てを出している姿は、例え、どこかで失敗したとしても、決して恥ずかしいものではなく、観客に感動を与えるものになっているはずで

す。しかし、いい加減に取り組んでいる姿は、実に情けなく、悔いが残るものです。

また、「自分たちが手本を見せてもらっていないことに対して、手本となっていくことは大変な労力があることではありますが、やり甲斐もあるはずで

す。 コロナ禍以降の柏原中の新しい合唱のスタイルを確立するのは、この学年の仕事です。

素晴らしい合唱をつくりあげてほしいと思っています。

### ④ ちゃんと喜んだり悲しんだりできるように

自分が本気を出していないことに対して、良い結果を得ても、そんなに嬉しくないと思います。例えば、適当に準備をして、何となく参加しただけの、合唱や演劇で優秀賞を獲得しても、そんなに嬉しくないはずで

す。かと言って、準備をしないわけにも、クラスの取り組みに参加しないわけにもいきません。

どうせやらないといけなければ、逃げていないで、本気で取り組みましょう。

そうすると、「自分は責任を持ってやり切ることができた」という自信にもなり、良い結果を得たら、涙が出るほど嬉しく、思うような結果が得られなかった時は、涙が出るほど悔しい思いになるはずで

### ⑤ 感動を期待しています

最近、廊下を移動していく3年生が、よく合唱曲を口ずさんでいます。大変うれしい光景です。先日は合唱のリハーサルがあったのですが、私は他の授業が入っていて見に行けなかったのですが、1組の給食時間に、リハーサルの様子を聞くと、「いい感じだと思います」「みんなすごく歌ってますよ」「先生たぶん聴いたら泣くと

思いますよ」と言っていました。

3クラスそろってすごい合唱をつくりあげ、是非泣かせてほしいと思っています。

1・2年生に「カッコ良さは、こうやって歌うことだ！」と示すとともに、観客の皆さんに「さすが3年」と感動させられる合唱をお願いします。

(文責:足立 進)